

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名		ディプロマ・ポリシー	【1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力】 幅広い知識、論理的思考力、応用生命科学分野の研究や製品開発に展開する高度な専門知識を身につけ、地域社会の課題の探求とその解決に向けた計画を立案・遂行できる能力を有する。	【2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲】 応用生命科学分野の専門知識、高い倫理観・責任感を身につけ、科学的な議論を展開し相互に理解し合うことができるコミュニケーション力を備え、持続可能な共生社会の形成に貢献できる能力を有する。	【3. 国際的発信力及び社会貢献】 生物資源学分野の諸問題を分析し、その解決のため自らの研究成果を国内外に発信する能力を身につけ、持続可能な生物資源産業の構築及び地域を発展させる産業創成に貢献できる能力を有	科目の教育目標	主要授業科目	
研究科共通科目	研究科基盤教育科目	データサイエンス	◎	○		1. データの性質を見極め、データから課題解決に役立つ情報を抽出できる 2. データに基づいて問題を考察し解決するプロセスを体験する 3. 専門の異なる人と協働して問題解決できる	○	
	グローバル教育科目群	国際協力論				◎	・文化を異にする地域に技術移転する際には、その技術を受容する社会の文脈理解が必要であるということを理解する。 ・グローバルな状況のなかで技術を社会実装する際に必要な社会科学的知識やスキルを身につける。	○
		グローバル社会文化論				◎	・グローバル社会に対応できる国際的な視点を身につけている。 ・グローバル化社会の課題について理解している。 ・グローバル化する文化について理解している。	○
		グローバルコミュニケーションA				◎		○
		グローバルコミュニケーションB				◎	1. 世界の先端技術・科学に関する専門的内容を学修し、国際的な技術動向や科学の実について理解を深める。 2. 先端技術・科学に関する専門的内容を英語で理解し、英語による表現力やプレゼンテーション力を深める。	○
		グローバルコミュニケーションC				◎	1. 先端技術・科学に関する専門的内容を学修し、外国の技術動向や産業の実情について理解を深める。 2. 先端技術・科学に関する専門的内容を理解し、英語によるコミュニケーション力を身につける。	○
	イノベーション教育科目群	科学技術論B			◎		1. 自らの専門とは異なる分野の問題の所在を説明できる。 2. 自らの専門とは異なる分野の問題について解決へのアプローチや評価の仕方を説明できる。	○
		科学技術論C			◎		1. 自らの専門とは異なる分野の問題の所在を説明できる。 2. 自らの専門とは異なる分野の問題について解決へのアプローチや評価の仕方を説明できる。	○
		科学技術論D			◎		1. 自らの専門とは異なる分野の問題の所在を説明できる。 2. 自らの専門とは異なる分野の問題について解決へのアプローチや評価の仕方を説明できる。	○
		科学技術論E			◎		1. 技術・科学に関する最新研究の知識を英語で習得する。 2. 異なる分野の問題の所在と、その解決へのアプローチを理解する。	○
		ビジネスモデル特論			◎		1. 技術や資源を活用したビジネスモデルの基礎的知識を習得する。 2. ビジネスプランを作成し、その内容を伝える能力を習得する。	○
	専攻共通科目		生物資源学研究	◎	◎	◎	1. 研究に必要な基礎的研究リテラシーとスキルを習得している。 2. 修士論文のテーマを設定し、実験計画を立案できる。 3. コミュニケーション能力や自発的意欲を有する。 4. 高い倫理観・責任感を有する。 5. 多様な考え方や豊かな創造力を身につけている。	○

科目名		ディプロマ・ポリシー	【1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力】 幅広い知識、論理的思考力、応用生命科学分野の研究や製品開発に展開する高度な専門知識を身につけ、地域社会の課題の探求とその解決に向けた計画を立案・遂行できる能力を有する。	【2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲】 応用生命科学分野の専門知識、高い倫理観・責任感を身につけ、科学的な議論を展開し相互に理解し合うことができるコミュニケーション力を備え、持続可能な共生社会の形成に貢献できる能力を有する。	【3. 国際的発信力及び社会貢献】 生物資源学分野の諸問題を分析し、その解決のため自らの研究成果を国内外に発信する能力を身につけ、持続可能な生物資源産業の構築及び地域を発展させる産業創成に貢献できる能力を有する。	科目の教育目標	主要授業科目						
								創薬学特論	細胞工学特論	生物化学工学特論	生体熱力学特論	生物物理化学特論	先端生命科学特論
所属基盤コース専門科目・教育クラスター科目	応用生命科学コース	創薬学特論	◎	○		1. 生体機能修飾物質の分子設計が理解できる。 2. 生体機能修飾物質の構造活性相関について説明できる。	○						
		細胞工学特論	◎	○		1. 最新の細胞生物学技術やその応用例を理解し説明することができる。 2. 細胞生物学関連技術について発表・討議できる能力を身につける。	○						
		生物化学工学特論	◎	○	○	1. 酵素や微生物の特性や機能を用いて有用物質の生産や環境汚染物質の分解などを効率的に行うための技術や方法を理解する。 2. 生物反応速度論およびバイオリアクターシステムの開発・設計・操作・制御について理解する。	○						
		生体熱力学特論	◎			1. 溶液の巨視的、微視的および電気化学的取り扱いを理解する。 2. 生体分子集合体の性質と環境変数および生理活性物質の影響について理解する。	○						
		生物物理化学特論	◎			1. 熱力学および統計力学に基づく溶液の微視的および巨視的取り扱いを理解する。 2. 高分子溶液の性質および高分子鎖の統計的取り扱いを理解する。 3. 示差走査熱量法および動的・静的光散乱法の原理および結果の解析方法を理解する。	○						
		先端生命科学特論	◎	○		1. 生命科学技術を理解する上で重要な基礎知識を説明できる。 2. 最先端の生命科学技術やその応用例を説明することができる。 3. 最先端の生命科学技術について発表・討議できる能力を身につける。	○						
		環境生物学特論	○	○	◎	1. 環境生物学の概念、生物環境に関する現状や問題点を理解する。 2. 生物環境の修復や保全のための最新研究や産業界での取り組みについて理解する。 3. 環境低負荷な再生資源利用方法や工業化を目指したマテリアル製造プロセスについて理解する。	○						
		再生医学特論	◎	◎	◎	1. 再生医学を理解する上で重要な基礎知識を説明できる。 2. 最先端の再生医学やその応用例を説明することができる。 3. 最先端の再生医学について発表・討議できる能力を身につける。	○						
		微生物工学特論	◎	◎	○	1. 微生物機能を活用した微生物産業と微生物制御について説明することができる。 2. 微生物工学技術および微生物制御技術について発表および討議することができる。	○						
		ケミカルバイオロジー特論	◎	○		1. ケミカルバイオロジー研究を理解する上で重要な基礎知識を説明できる。 2. 最先端のケミカルバイオロジー研究やその応用例を説明することができる。 3. 最先端のケミカルバイオロジー研究について発表・討議できる能力を身につける。	○						
		細胞情報学特論	○	◎		1. シグナル・情報伝達における蛋白質-リガンド相互作用の基礎知識を説明できる。 2. 蛋白質-リガンド相互作用の理解に基づき、定量的な解析ができる。	○						
		微生物検査学特論	◎	○		1. 微生物検査の対象や検査手法、およびその原理を理解して説明することができる。 2. 微生物検査に関する最新の情報を修得して理解し、その内容を説明することができる。	○						
		応用生命科学特別実習	◎	○	○	1. 応用生命科学分野の基礎的な技術とそれに関連する知識を身につける。 2. 応用生命科学分野の研究成果について解析・考察・発表を行うことにより、論理的思考力とプレゼンテーション力を身につける。	○						
		応用生命科学特別講義	◎	○	○	1. 応用生命科学分野における統計解析の知識と手法について理解する。 2. 応用生命科学分野における研究成果について統計解析を用いて科学的に説明することができる。	○						

ディプロマ・ポリシー			【1. 学識と研究能力及び高度専門職業能力】 幅広い知識、論理的思考力、応用生命科学分野の研究や製品開発に展開する高度な専門知識を身につけ、地域社会の課題の探求とその解決に向けた計画を立案・遂行できる能力を有する。	【2. 豊かな人格と教養及び自発的意欲】 応用生命科学分野の専門知識、高い倫理観・責任感を身につけ、科学的な議論を展開し相互に理解し合うことができるコミュニケーション力を備え、持続可能な共生社会の形成に貢献できる能力を有する。	【3. 国際的発信力及び社会貢献】 生物資源学分野の諸問題を分析し、その解決のため自らの研究成果を国内外に発信する能力を身につけ、持続可能な生物資源産業の構築及び地域を発展させる産業創成に貢献できる能力を有	科目の教育目標	主要授業科目
・教育クラスター科目	他コース科目		○		◎		
	他専攻科目		◎	○			
学位論文指導科目	応用生命科学特別演習		◎	◎	◎	1. 応用生命科学分野における最新の研究や応用展開に関する文献を探索できる。 2. 応用生命科学分野の最新の研究を理解し、その内容について発表・討議できる。 3. 応用生命科学分野の研究で用いられる最新の研究手法を理解し、それを活用できる。	○
	応用生命科学特別研究		◎	◎	◎	1. 修士論文の作成に向けた研究を主体的・能動的に実施できる。 2. 得られた研究結果の解析や解釈が適切にできる 3. 研究成果を修士論文にまとめて発表できる。	○